

① そいつが小屋の入り口に、ゆっくりを出した時、百姓どもはぎよつしなげぎよつ した？ よくきくねえ、をしだすか知れないじゃないか。か合っては大変だから、どいつもみんな一生懸命、自分の稲をこいでいた。

② ころがその時オツベルは、並械の後ろの方で、ポケットに手ながら、ちらっ するどく、象をみれからすばやく下を向き、なんざうふうで、今までどおり行ったりしていたもんだ。

③ する 今度は白象が、片足床のだ。百姓どもはぎよつ した。も仕事がいそがしいし、かかりひどいから、そっちを見ずに、やっ稲をこいでいた。

④ オツベルは、奥のうすく暗い所で、両手をポケットから出して、も一度ちらっ、象を見た。それからいかにも退屈そうに、わざと 大きなあくびをして、両手を頭の後ろに組んで、行ったり来たりやっていた。ころが象がいせいよく、前足二つつき出して、小屋に上がってこよう する。百姓どもはぎくつし、オツベルも少しぎよつ して、大きな琥珀のパイプから、ふっ けむりをはき出した。それでもやっぱり知らないふうで、ゆっくりそこらを歩いていった。

⑤ そしたら うう、象がこのこのこ上がつてきた。そして器械の前の こを、のんきに歩き始めたのだ。ころがなにせ、器械はひどく回っていて、もみは夕立かあられのように、パチパチ象に当たるのだ。象はいかにもう

いぷり (標準版)

あらすじをおさえながら、文章を読む習慣をつけていきます。

いらしく、小さなその目を細めて、またよく見る、確かに少し笑った。

『ゼロ弾きのゴーシュ 宮沢賢治童話集』(偕成社)より

①「そいつ」とは何を指しますか。 答えなさい。

②「百姓どもはぎよつとした」とありますが、なぜ「ぎよつとした」のすか。理由を文章中から十字ぬき出しな

から。 []

③「それ もやっぱりそこらを歩いた」について答えなさい。 []

④ (象 百姓ども オツベル) []

② | ③のようにしていたのはなぜ すか。最も適切なものを選び、記号 答えなさい。 []

ア 象がおそろしくて落ち着かなかつたから。 []

イ 百姓たちが仕事をさばらないように見張っていたから。 []

ウ 象を手に入れよう 考えていたが、無関心をよそおいたかったから。 []

④ この『オツベルと象』は「ある牛飼いが話した物語という設定 書かれています。それが最もよくわかる部分に――線を引きなさい。

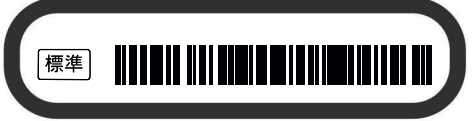
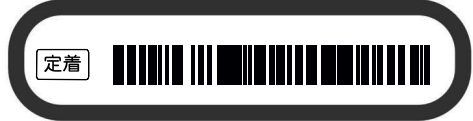
⑤ ……⑦⑧の漢字の読みを書きなさい。

㊦ 一生懸命 () ㊩ 稲 ()

㊷ 退屈 () ㊵ 琥珀 ()

1

2



そいつが小屋の入り口に、ゆっくり顔を出した時、百姓どもはぎよつとた。なぜぎよつとた？ よくきくねえ、何をだすか知れないじゃないか。かかり合つては大変だから、どいつもみんな、一生懸命、自分の稲をこいでいた。

ところがその時オツベルは、並んだ器械の後ろの方で、ポケットに手を入れながら、ちらつとすると、象を見た。それからすばやく下を向き、なんでもないというふうで、今までどおり行ったり来たりしていたもんだ。

すると今度は白象が、片足床に上げたのだ。百姓どもはぎよつとた。それでも仕事がいそがしい、かかり合つてはひどいから、そつちを見ずに、やっぱり稲をこいでいた。

オツベルは、奥のうすく暗い所で、両手をポケットから出して、も一度ちらつと、象を見た。それからいかに退屈そうに、わざと大きなあくびをして、両手を頭の後ろに組んで、行ったり来たりやっていた。ところが象がいせいよく、前足二つつき出でて、小屋に上がつてこようとする。百姓どもはぎくつと、オツベルも少ぎよつとて、大きな琥珀のパイプから、ふっとけむりをはき出した。それでもやっぱり知らないふうで、ゆっくりそこらを歩いていった。

そたらとうとう、象がこのこのこ上がつてきた。そこで器械の前のとこを、のんきに歩き始めたのだ。

ところがなせ、器械はひどく回っていて、もみは夕立かあられのように、パチパチ象に当たるのだ。象はいかにもう

1年

名前

年組番

るさいらく、小さなその目を細めていたが、またよく見ると、確かに少笑っていた。

なまげけじ
宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ 宮沢賢治童話集』(偕成社)より

次の語句の意味を調べなさい。また、わからない語句があれば、ぬき出して調べなさい。

◇ かかり合い

〔語句〕

〔意味〕

◇ いかにも

◇ (よみ) 稲をこく

稲からもみを落

◇ いせいよく

用例

◇ 元氣よく

用例

◇ () 琥珀

◇ なにせ

用例

② この物語に登場する人や動物を書きなさい。

定着プリント

iプリの内容を定着させる
プリントです。

1年

名前

年組番

るさいらく、小さなその目を細めていたが、またよく見ると、確かに少笑っていた。

みやざきけんじ
宮沢賢治『ゼロ弾きのゴーシュ 宮沢賢治童話集』(偕成社)より

① そいつが小屋の入り口に、ゆっくり顔を出した時、百姓どもはぎよつとた。なぜぎよつとた? よくきくねえ、何をだすか知れないじゃないか。かかり合っては大変だから、どいつもみんな、一生懸命、自分の稲をこいていた。

② ところがその時オツベルは、並んだ器械の後ろの方で、ポケットに手を入れながら、ちらつとすると、象を見た。それからすばやく下を向き、なんでもないというふうで、今までどおり行ったり来たりしていたもんだ。

③ すると今度は白象が、片足床に上げたのだ。百姓どもはぎよつとた。それでも仕事がいそがい、かかり合ってはひどいから、そっちを見ずに、やっぱり稲をこいていた。

④ オツベルは、奥のうすく暗い所で、両手をポケットから出ても一度ちらつと、象を見た。それからいかにも退屈そうに、わざと大きなあくびをして、両手を頭の後ろに組んで、行ったり来たりやっていた。ところが象がいせいよく、前足二つつき出ても、小屋に上がってこようとする。百姓どもはぎくつと、オツベルも少ぎよつとて、大きな琥珀のパイプから、ふっとけむりをはき出した。それでもやっぱり知らないふうで、ゆっくりそこらを歩いていった。

⑤ そたらどうとう、象がこのこのこ上がつてきた。そこで器械の前のとこを、のんきに歩き始めたのだ。

⑥ ところがなにせ、器械はひどく回っていて、もみは夕立かあられのように、パチパチ象に当たるのだ。象はいかにもう

①〜⑥の段落の内容をまとめました。あくくにあてはまることばを、文章中からぬき出して書き入れなさい。

① ・そいつ^一ア^二 小屋の入り口に顔を出た。

・百姓ども

「イ」 と たが、自分の稲をこいていた。

② ・ウ^一 なんでもないというふうで、行ったり来たりしていた。

③ ・象

「エ」

・百姓ども

ぎよつと たが、やっぱり稲をこいていた。

④ ・象

前足二つつき出ても、

「オ」

・百姓ども

ぎくつと た。

・オツベル

少ぎよつと たが、ゆっくりそこらを歩いていった。

⑤ ・象

「カ」 上がったきて、

のんきに「キ」

⑥ ・象

もみがパチパチ当たるので、小さなその目を細めていたが、確かに

「ク」

そいつが小屋の入り口に、ゆっくり顔を出した時、百姓どもはぎよつとた。なぜぎよつとた？ よくきくねえ、何をだすか知れないじゃないか。かかり合っては大変だから、どいつもみんな、一生懸命、自分の稲をこいていた。

A その時オツベルは、並んだ器械の後ろの方で、ポケットに手を入れながら、ちらっとするどく、象を見た。①それからすばやく下を向き、なんでもないというふうで、今までどおり行ったり来たりしていたもんだ。

すると今度は白象が、片足床に上げたのだ。百姓どもはぎよつとた。それでも仕事がいそがい、かかり合ってはひどいから、②そっちを見ずに、やっぱり稲をこいていた。

オツベルは、奥のうすく暗い所で、両手をポケットから出でて、も一度ちらっと、象を見た。それからいかにも退屈そうに、わざと大きなあくびをして、両手を頭の後ろに組んで、行ったり来たりやっていた。A 象がいせいよく、前足二つつき出でて、小屋に上がってこようとする。百姓どもはぎくつと、オツベルも少ぎよつとて、大きな琥珀のパイプから、ふっとけむりをはき出した。それでもやっぱり知らないふうで、ゆっくりそこらを歩いていった。

そたらどうとう、象がこのこのこ上がつてきた。そして器械の前のとこを、のんきに歩き始めたのだ。

A なにせ、器械はひどく回っていて、もみは夕立かあられのように、パチパチ象に当たるのだ。象はいかにもう

るさいらく、小さなその目を細めていたが、またよく見ると、確かに少笑っていた。

みやぎけん 宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』

A には同じつなぎ次から選びなさい。

(だから ところ)

② | ①「それからんだ」について答、

(1) | ①と同じようにして無関心をよそしている文を二つ探

(2) オツベルが象を無せかけているのはなぜ書きなさい。

標準プリント
この単元項目の標準的なレベルのプリントです。

③ | ②「そっち」が指している内容をわかりやすく答えなさい。

のほう。

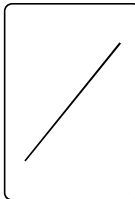
④ 本文の内容にあてはまるものには○、あてはまらないものには×をつけなさい。

① 白象がぶらっと小屋にやってきた。

② 百姓どもは象におどろいて逃げ出した。

③ 象は小屋で暴れ出した。

⑤ [] で囲まれた部分を読んで、象の表情を絵でかきなさい。



① 「軽便鉄道敷設の工事」(246頁1行)について答えなさい。

(1) 工事が始まったのは、良平がいくつのおときですか。

[]

(2) 良平が毎日工事を見物に行ったのは、なぜですか。

[]

② 「そんな景色」(246頁10行)について答えなさい。

(1) 「そんな景色」を説明している部分の初めと終わりの五字を書きなさい。

[] [] [] [] []

(2) 「そんな景色」を眺めながら、良平はどのように思いましたか。

[] になりました。

土工といっしょに [] に乗りたい。

←

乗れなくても、せめて [] さえてきたら。

③ 「ある夕方」(246頁19行)、良平は誰と村外れに行きましたか。

[] [] [] []

④ 「土工たちの姿は見えなかった」(246頁23行)とありますが、このとき良平はどう思いましたか。次から選び、記号で答えなさい。

[]

ア みんなどこへ行ってしまったんだろう。

イ トロッコを動かすのなら今のうちだ。

ウ 土工のかわりにトロッコを押してあげよう。

⑤ 「いちばん端にあるトロッコ」(247行)について答えなさい。

(1) そのときの三人の様子を文章きしなさい。

[] [] [] [] []

(2) トロッコの車輪の音を聞いてはどう変化しましたか。

[]

⑥ 「いくら押しても動かない」(247頁)について答えなさい。

(1) 良平は、どんなことを「ですか」

[]

(2) 三人が飛び乗ったトロッコは、どうなりましたか。

トロッコは、最初 []、それから []、勢いよく、 []、 [] に線路を下りだした。

[] [] [] [] [] [] [] []

(3) トロッコに乗っているときの良平の気持ちを文章中から三字で抜き出ささい。

[] [] [] [] [] [] [] []

⑦ 良平が、トロッコに「二度と乗ってみよう」と思ったことはない(248頁15行)のはなぜですか。次から選び、記号で答えなさい。

[]

ア 土工に怒鳴られたことがとてもおそろしかったから。

イ 一度乗ったことで満足したから。

ウ 土工がいつも見張っていることがわかったから。



1
P.246~P.248
名前

教科書の本文を読んで
文章を読む習慣をつけていきます。



◆ () には漢字の読み、□には漢字、〔 〕には漢字と送りがなを書きなさい。

(1) 〔ことば〕のこ**と**ばを述**べ**る。

(2) □**ほ**た**る**が光を放**つ**。

(3) ブド**ウ**の房**。**〔 〕

(4) 百**年**の伝**統**を〔 〕**ほ**こ**る**。

(5) 私**の**□**し**ゅ**み**は読**書**だ。

(6) □**し**が**い**せん**。**対**策**を**す**る。

(7) □**ぶ**ん**ぼ**う**ぐ**を**か**う。

(8) 地**面**に霜**が**降**り**て**い**た。〔 〕

(9) □**さ**ん**が**く**。**地**帯**で道**に**迷**う**。

(10) □**あ**こ**が**れ**。**〔 〕の**職**業**。**

(11) 乗**客**が飛**行**機**に**□**と**う**じ**ょう**。**〔 〕**す**る。

(12) ヨーロ**ッ**パの絵**画**に憧**け**い**す**る。〔 〕

(13) 蛍**光**ペ**ン**でチ**ェ**〔 〕

(14) 戦**力**を誇**示**す〔 〕

(15) 浅**間**の岳**。**〔 〕

(16) 弔**意**を**表**す。〔 〕

(17) 市**民**が戦**禍**に巻**き**込**ま**れる。〔 〕

(18) 美**し**い紫**の**花**が**咲**い**て**い**る。〔 〕

(19) 上**品**な趣**が**あ**る**。〔 〕

(20) 出**産**の□**け**い**じ**を**祝**う。

漢字 用例プリント
教科書単元を指定し、その範囲
の新出漢字をピックアップ。
読み・書き・混合のランダム
出力も可能